

# 会報

Rotary International District 2820  
**下館ロータリークラブ**  
 SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

- 例会日 毎週水曜日 PM12:30 ダイヤモンドホール
- 事務所 ダイヤモンドホール (筑西市玉戸 1053-4 0296-28-8511)
- ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp/>
- 会長 関谷 徹 ■ 副会長 瀧田 昌甫 ■ 幹事 新井 和雄
- 会報委員会 委員長 河添 康徳 副委員長 早瀬 浩一



## 今週のプログラム

- 6月5日 12:30～  
 ● 祝い事・フリー

## 次週のプログラム

- 6月12日 12:30～  
 ● 新入会員卓話 堀江 勤 会員

## お客様

- 国際奉仕記念講演

水野達夫 大使



- 国際交流友の会の皆様
- 下館ローターアクトクラブの皆様

## 幹事報告

新井 和雄 幹事

### 【幹事報告】

- ガバナーマンスリー 5月号に石川会員・大槻会員の入会が掲載されております。

## 会長挨拶

関谷 徹 会長

皆さんこんにちは。

本日のお客様を紹介させていただきます。水野達夫 大使、国際交流友の会の皆様、そして下館ローターアクトの皆様です。ようこそおいでくださいました。

さて、今年は早くも梅雨入りと発表がありました。6月中旬になるのかと思っていたのですが、気候の変動が激しいと改めて感じさせられました。

今年の冬は各地で大雪となり寒い日が続き、そうかと思ったら急に暖かく桜の開花が早まったり、そして5月中の梅雨入りと異常気象が続いています。寒かったり、暑かったりと体調をくずしやすい気候ですので、体調管理には十分注意してください。

本日は水野大使の国際奉仕記念講演です。「日本の外交・尖閣問題の対応」というテーマの中で、中国との諸問題等、マスコミとは違った見方での講演をいただけるのではと大変楽しみにしていました。

日本人として、しっかりと学んで対処していかなければと思っています。

皆さんもよろしくお祈りします。



## 外部卓話

国際奉仕記念講演 水野 達夫 様



### 1. 日本の基本的立場

●尖閣諸島が日本固有の領土であることは、歴史的にも国際法上も疑いないところで有り、現に我が国はこれを有効に支配している。

●一方、我が国固有の領土である尖閣諸島について中国及び台湾が、独自の主張を受け入れる事は出来ず、これまでの独自の主張に基づく言動については、我が国の基本的立場に基づき抗議等してきている。

●今回所有権を国に移転することとした尖閣三島は、1932年までは国が所有していた物で、その後民間人に所有権が移ったが、今回それを再度国に戻す物であり、大きな現状変更を行うものではない。また、尖閣諸島の大正島については、我が国領土への編成依頼一貫して国が所有権を有している。

●その後、我が国は、現実問題として尖閣諸島を巡る無用な混乱等が生じることを避ける等との観点から、政府として、尖閣諸島の平穏かつ安定的な維持・管理を図る必要があると判断し、私有地である魚釣島、北小島及び南小島の三島に着いて国が2002年から貸借してきた。

●今般、所有者に於いて尖閣三島を売却する意向が示されたので、引き続き尖閣諸島周辺海域における航行安全業務を適切に実施しつつ、尖閣諸島の長期にわたる平穏かつ安定的な維持・管理を図るため9月11日、可及的速やかに尖閣三島の所有権を国に移転することとした。これじゃ、あくまでも我が国領土の一部の土地の所有権を以前の所有者から国に移転する物で有り、他の国や地域との間で何ら問題を惹起すべき物ではない。

●今般の我が国政府への所有者の移転により、我が国の国内において所有者は変更するが、あくまでも尖閣諸島を長期にわたり平穏かつ安定的に維持・管理するという我が国の方針に何ら変更は無く、そのための現実的で最善の策である。なお、政府としては、引き続き、原則として政府関係者を除き何人も尖閣諸島への上陸を認めないとの方針を採っていく事としている。これはまさに、我が国の国民による上陸が、近隣諸国・

地域の者による領海侵入・上陸を誘発しやすく、無用な混乱等を招くことで、尖閣諸島の『平穏かつ安定的な維持・管理』が困難になることを防ぐことを目的とするものである。

●かかる立場については、これなでも中国側に対して明確に伝達してきており、今後とも、双方に対する誤解や不測の事態を避けることが重要との観点から、日中両国の外交当局間で緊密な意思疎通を行っていく。

●日中関係は我が国にとっても最も重要な二国間関係の一つで有り、アジア太平洋地域の安定と繁栄のためには、中国の建設的な役割が不可欠。尖閣諸島を巡る事態が日中関係全般に影響を与えることは望んでおらず、大局的観点から、日中両国の『戦略的互惠関係』を深化させるとともに、地域の安定した秩序作りに向けた協力を深めていく。特に、両国首脳間で合意された「6つのイニシアティブ」の下、日中高級事務レベル海洋協議等を通じて両国海洋関係機関の相互理解と相互信頼を増進し、東シナ海を「平和・協力・友好の海」とするための協力を強化していく。

●日中関係をマネージしようとする日本側の積極的な姿勢にもかかわらず、中国では各地で我が国に対する様々な抗議デモが発生し、一部が暴徒化し、在留邦人に対する暴力的行為、日系企業に対する放火や不法侵入、売り場や生産ラインの破壊、略奪行為等が発生。いかなる理由であれ、暴力行為は決して許されるものではなく、これは国際社会の共通の関心事項である。このような事態が発生したことは誠に遺憾。日本側からは、中国側に対し、在留邦人や企業等の安全確保について強く要請するとともに、日中関係の大局を見失わずに、冷静に対応する旨働きかけている。

●いずれにしても、尖閣諸島をめぐる解決すべき領有権の問題はそもそも存在していないとの我が国の立場には何も変わりはない。(このように述べる背景は以下2.のとおりである。)

### 2. 日本の主張の正当性／中国の主張の脆弱性

●尖閣諸島は、1885年以降政府が沖縄県当局を通ずる等の方法により再三にわたり現地調査を行い、単にこれが無人島であるのみならず、清国の支配の及んでいる痕跡がないことを慎重に確認の上、1895年1月14日に現地に標杭を建設する旨の閣議決定(別添1)を行って、正式に我が国の領土に編入することとした。この行為は、国際法上、正当に領有権を取得するためのやり方に合致している(無主地の先占)。

●同諸島は爾来歴史的に一貫して我が国の領土たる南西諸島の一部を構成しており、1895年5月発効の下関条約第2条に基づき我が国が清国より割譲を受けた台湾及び澎湖諸島には含まれない。また、尖閣諸島を領土に編入した閣議決定(1895年1月)は、下関条約(1895年4月調印、5月発効)よりも前に行われた。したがって、日清戦争の結果日本が尖閣諸島を奪取したとの批判は全く正しくない。

●サンフランシスコ平和条約においても、尖閣諸島は、同条約第 2 条に基づき我が国が放棄した領土のうちには含まれず、第 3 条に基づき南西諸島の一部としてアメリカ合衆国の施政権下に置かれ、沖縄返還協定においても我が国に施政権が返還される地域に含まれており、同協定発効とともに我が国に施政権が返還された。

●1968 年に国連アジア極東経済委員会が東シナ海の学術調査を行い、石油資源が埋蔵されている可能性を指摘したが、このことが契機となって、1970 年以降、中国及び台湾が尖閣諸島の領有権について独自の主張を行うようになった。それ以前はどの国・地域も日本による尖閣諸島の領有に異議を唱えたことはなかった。

●1920 年 5 月に、当時の中華民国駐長崎領事から福建省の漁民が尖閣諸島に遭難した件について発出された感謝状(別添 1)においては、「日本帝国沖縄県八重山郡尖閣列島」との記載がみられる。また、1953 年 1 月 8 日人民日報記事「琉球諸島における人々の米国占領反対の戦い」(別添 2)においては、琉球諸島は尖閣諸島を含む 7 組の島嶼からなる旨の記載があるほか、例えば 1933 年に中国で発行された「中華民国新地図」(別添)や 1960 年に中国で発行された「世界地図集」(別添)では、尖閣諸島が日本に属するものとして扱われている。



## スマイルBOX

佐藤 昭 委員長

- 関谷 徹さん 水野大使ご苦勞様です。本日の卓話よろしくお願  
します。
- 新井 和雄さん 水野達夫大使の卓話を記念して。
- 下館国際交流友 本日はお招きを頂き有難うございます。水野大使様  
の会 (日向野さん) ネパールに訪問した折はとても楽しい一夜を新井 和  
雄さんグループでの食事会有難うございました。
- 藤川ネネさん いつも暖かいご支援を頂き有難うございます。国際  
交流友の会 会長
- 瀧田 昌甫さん 水野先生の来訪を記念して。ネパールの小学校へ浄  
水設備設置にはお世話になりました。
- 日向野 陽さん 水野大使ようこそいらっしゃいました。本日の講演楽  
しみにしています。
- 新井 雅勝さん 水野大使ようこそお出で下さいました。本日はよろし  
くお願い致します。
- 新井 利平さん 水野達夫大使の御来訪、又講演頂き有難うございま  
す。
- 諏訪 哲也さん 水野大使ようこそいらっしゃいました。
- 鈴木 光則さん 水野さんにお会いできる事、楽しみにしていました。
- 百目鬼 博行さん 水野大使の御来訪を記念して。
- 早瀬 浩一さん 水野達夫大使ようこそお出で下さいました。ご講演  
楽しみにしていました。
- 溝口 明洋さん 水野大使ようこそおいで下さいました。本日卓話よろ  
しくお願致します。
- 佐藤 昭さん 水野達夫大使、記念講演よろしくお願致します。
- 河添 康徳さん 水野大使、本日はようこそお出で下さいました。記念  
講演宜しくお願致します。
- 外山 壽彦さん 水野大使ようこそ。ご講演宜しくお願致します。
- 黒澤 昌之さん 水野大使ようこそ。講演宜しくお願致します。
- 河添 康徳さん 今月も本業を支えてくれた従業員達、そして家族に  
対し感謝し、ロータリアンとして奉仕部門に協力の意  
を表したい。
- 永盛 武さん 今月も本業を支えてくれた従業員達、そして家族に  
対し感謝し、ロータリアンとして奉仕部門に協力の意  
を表したい。

本日の合計 23,000円 / 累計 1,476,000円

## 本日の夕食

